

● 社会活動状況 ●2021.1.1～12.31

2021.12.23

◆第116回全国大学獣医学関係代表者協議会（臨時）◆

開催：メール会議 参加者約30名

内容：獣医学教育における動物福祉を検討する委員会委員について

2021.12.18

◆獣医疫学会オンラインセミナー「今振り返る昨シーズンのHPAIの疫学とウイルスの特徴」◆

開催：Webex 参加者40名

内容：1. 昨シーズンの疫学調査の結果と発生の特徴
2. 国内で分離されたウイルスの特徴と病原性

2021.12.15

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催場所：ホテルマリックス(宮崎市)

内容：R3年度決算、総会、補助犬支援対策、新入会員、メーリングリスト、動物愛護事業について

2021.12.3

◆JASV 第10回口蹄疫終息記念セミナー◆

開催：オンライン開催 67アカウント

発表内容：2010年の宮崎での口蹄疫と東アジアでの口蹄疫発生現状について

2021.12.3

◆第94回日本家畜衛生学会◆

開催：オンライン開催 104アカウント

発表内容：

1. The effect of Hypochlorous acid water on biofilm bacteria
2. 2001～2017年に国内のサラブレッド競走馬の肺炎症例から分離された腸管外病原性大腸菌に関する研究

2021.11.28

◆読売新聞 25面「この人に聞く」◆

「出水市は国内最大のツルの越冬地で、農場の敷も多し。養鶏農家の防疫意識は高く、何年も発生を防いできたが、今季発生したゲイスでは鶏舎内にネズミが侵入しており、設備の破損が確認された。決して油断してはいけない」

——国内や県内での感染拡大の見通しは。

「飛来ルートやウイルスの種類の変化を踏まえると、感染分数が過去最多だった昨季を上回る可能性は十分ある。県内でも野鳥のふん便からウイルスが検出されており、養鶏場でもいつ確認されてもおかしくない状況だ。ピークは12月、来年1月で、5月の連休頃までは警戒が必要となる」

——高産関係者はどんな対策が求められるか。

「今季の国内外での発生状況をうかがっているが、（欧州で昨年と同規模がそれ以上に進行し、早い段階で国内でも発生し始めた「H5N1亜型」と「H5NB亜型」の2種類のウイルスが検出されていること）から、気象条件や気流、渡り鳥の飛行ルートが変化してきていることも考えられる」

——隣県の鹿児島県出水市でも発生している。

「鶏舎の破損部位の点検などを一度きりで終わらせるのではなく、1週間おきくらいで習慣的に続けてほしい。自分の農場にどんな野生動物が入ってきているかや、水辺にどれほど近い立地条件かといったことを知ることも大切だ。これまで継続してきた取り組みとともに、それ以上の対策を講じなければならぬ」

——ピークを前に県民全般が注意すべきことは。

「ウイルスの発生は（鶏肉や卵の）価格上昇などの面で食卓にも影響する。消費者も意識を高め、野鳥の死骸を見つけた時は手で触れずに投所に連絡したり、魚釣りや水辺でのレジャーの際には靴底の泥を落とし、たりといったことを心がけてもらうこと」

この人に聞く

宮崎大農学部教授 末吉 益雄さん

すえよし・ますお 国富町出身。宮崎大農学部獣医学科を卒業後、農林水産省家畜衛生試験場などで勤務した。1992年に北海道大学獣医学研究科で博士号を取得し、2011年から宮崎大農学部獣医学科の教授を務める。今年10月には同科の学科長に就任した。62歳。

2021.11.27

◆第4回 JASV 豚コレラ対策検討委員会◆

開催：オンライン開催 14名

内容：豚熱(CSF)防疫対策～特に野生イノシシ対策について

2021.11.19-20

◆第 81 回日本豚病臨床研究会定例会◆

開催：ハイブリッド開催 会場 18 名 web36 名

内容：症例報告と豚熱の防疫対策について



2021.11.16

◆MRT ニュース Check!◆

内容：鹿児島県出水市で 2 例続発した HPAI を受けて防疫のあり方について



2021.11.14

◆宮崎日日新聞 p.27◆

◆令和3年度宮崎県家畜保健衛生業績発表会◆

場所：オンライン開催（Microsoft Teams）

内容：第1部 家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生の企画推進に関する業務

第2部 家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績

2021.11.8

◆養豚場視察◆

場所：都城市

内容：分娩舎、離乳豚舎、肥育舎、交配舎の環境調査

2021.11.5

◆NARO 国際シンポジウム 2021◆

開催：web形式

内容：動物感染症や人獣共通感染症のアジアでの発生状況と対策

2021.11.3

◆第9回 JASV 養豚従事者基礎研修会打ち合わせ◆

開催：web形式 5名

内容：企画・プログラム案について

2021.11.1

◆令和3年度野生獣衛生推進体制促進事業に係る第2回技術専門委員会◆

開催：web形式 12名

内容：令和3年度事業進捗状況、現地調査計画（案）、問題点・要望について

2021.10.28

◆養豚場視察◆

場所：出水市

内容：豚の浮腫病と PRRS コントロールについて

2021.10.21

◆動物用生物学的製剤調査会◆

開催：ハイブリッド形式 参加者 対面 17名 web10名

内容：1. 動物用生物学的製剤の製造販売承認の可否等について

2. 動物用体外診断用医薬品の製造販売承認事項変更の可否等について

3. 動物用生物学的製剤基準の一部改正について

2021.10.17

◆宮崎大学農学部オープンキャンパス◆

開催：ハイブリッド形式 参加者 対面 19名 web16名

内容：1. 学科紹介(対面)

2. 遺伝子診断を体験(対面)

3. 動物のお医者さん体験 外科手術の基本～切開・縫合～(対面)

4. 学科紹介・個別相談(オンライン)

2021.10.17

◆日本家畜衛生学会第2回理事会◆

開催：web形式 参加者 web40名

内容：1. 第94回研究発表会・家畜衛生フォーラム2021の開催方法について

2. 新理事の紹介

3. 事務局報告

4. 編集委員会報告

2021.10.13

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web形式 参加者 web43回線

内容：1. 養鶏製品について

2. 普段気付かないストレスサインについて

3. 育雛初期に注意すべき細菌・真菌性疾病と対策

4. 薬剤投与方法についての一考

2021.10.8

◆第 99 回日本豚病研究会・2021 年度日本豚病臨床研究会・2021 年度日本養豚開業獣医師協会第 11 回合同集会◆

開催：ハイブリッド開催 会場 60 名 web401 回線

内容：豚熱の発生防止に向けて

2021.10.6

◆令和 3 年度西・北諸地域豚病対策連絡協議会研修会◆

開催：YouTube 配信 視聴回数 38 回

内容：豚熱（CSF）・アフリカ豚熱（ASF）侵入防止の為にバイオセキュリティの実践について

2021.10.1

◆令和 3 年度 安全な農畜水産物定供給の包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業「家畜の伝染病国内侵入と野生動物由来リスクの管理技術の開発第 1 回研究推進会議◆

開催：web 形式 参加者 45 名

内容：1. 野生動物を介した家畜の伝染病播リスク評価
2. 伝染病の早期摘発や監視情報を活用した防疫最適化
3. 伝染病発生時の危機管理技術

2021.9.29

◆福岡県令和 3 年度産業動物部会講習会◆

開催：web 形式 参加者 web アカウント 11

内容：野生動物と家畜伝染病

2021.9.15

◆家禽疾病講習会◆

開催：ハイブリッド開催(集会/web) 参加者 集会 10 名、web62 名

内容：鶏の病気を学ぶ前に養鶏業界を知る～安全と信頼を届けるために～

2021.9.9

◆第 90 回国公立大学獣医学協議会◆

開催：web 会議

内容：各大学の現状、獣医学部構想、地域枠入試、その他について

2021.9.1

◆第 115 回全国大学獣医学関係代表者協議会◆

開催：web 会議

内容：

1. 獣医大学における生体を利用した実習での動物の取扱いに関する調査等について
2. 「獣医学教育における動物福祉と倫理を検討する委員会（仮称）」の新設
3. 「獣医学教育改善検討委員会」の立ち上げ
4. 診療参加型臨床実習及び体験型家畜衛生・公衆衛生実習の内容・マニュアルについて

2021.8.26

◆養豚場視察◆

場所：出水市

内容：豚の浮腫病と PRRS コントロールについて

2021.8.5

◆第 2 回 豚熱ワクチンを考える会◆

開催：web 開催 参加アカウント 310(537 名)

内容：

第 1 部：豚熱発生事例の疫学調査の考察

- ・豚熱ワクチン未接種農場及び接種農場での豚熱発生事例
- ・豚熱の疫学調査から見えてくること

第 2 部：豚熱に対する農場防疫のポイント

- ・いのししが関与する豚熱に対する農場防疫の取り組み
- ・食品循環資源利用農家における農場防疫の取り組み事例
- ・農場防疫ルーチンの見直し

2021.8.4

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：ハイブリッド開催(集会/web) 参加者 集会 5名、web49名

内容：1. 鳥インフルエンザと消毒の基礎について

2. 酪酸菌について

3. 養鶏場防疫ルールと監視体制

4. 免疫抑制因子について提言ーIBD 変異株と免疫抑制型 CAVー

2021.7.26

◆養豚場視察協議◆

場所：都城市

内容：豚浮腫病対策について

2021.7.16

◆第42回宮崎・鹿児島しゃくなげ会◆

開催場所：宮崎観光ホテル(宮崎市) オンライン開催 参加アカウント 50

内容：牛の疾患の対処事例について

2021.7.14

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：ハイブリッド開催(集会/web) 参加者 集会 9名、web46名

内容：1. ワクモ対策

2. 第3世代のIBD ワクチンのメカニズムと海外事例紹介

3. アイメリア・テネラ感染鶏に対する5-アミノレブリン酸の効果

2021.7.13

◆豚疾病対策会議◆

開催場所：宮崎県経済連(宮崎市) 参加者 6名

内容：豚浮腫病、消化器病、飲水の衛生、ワクチン、吸着剤について

2021.7.12

◆養豚アニマルウェルフェア～快適性に配慮した豚の飼養管理推進普及事業～検討委員会◆

開催：オンライン会議 参加者 13名

内容：事業計画、達成目標、情報収集について

2021.7.6

◆「第2回豚熱ワクチンを考える会」事前打合せ◆

開催：オンライン会議 参加者 9名

内容：テーマ・タイトル、発表内容確認、案内文書・事前アンケートについて

2021.7.2

◆養豚場視察協議◆

場所：熊本市

内容：増築時の農場バイオセキュリティについて

2021.6.29

◆令和3年度地域豚疾病低減対策強化事業第1回推進委員会◆

開催：オンライン会議 参加 15名

内容：事業経緯、目的、令和3年度事業計画、次年度計画等について

2021.6.29

◆令和3年度地域豚疾病低減対策強化事業第1回事業強化委員会◆

開催：オンライン会議 参加 15名

内容：事業経緯、目的、令和3年度事業計画、次年度計画等について

2021.6.28-30

◆鶏病研究会総会◆

開催：書面会議

内容：令和2年度活動報告、令和2年度会計報告、令和3年度活動計画、令和3年度予算計画について

2021.6.25

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催場所：ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)

内容：新役員選出、役職員旅費について

2021.6.25

◆令和3年度宮崎県獣医師会総会◆

開催場所：ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)

内容：令和2年度活動報告と令和3年度活動計画について

2021.6.18

◆畜産経営支援協議会 家畜疾病、自然災害緊急支援体制整備事業推進委員◆

開催：メール書面会議

内容：令和3年度実施計画、令和3年度達成目標について

2021.6.16

◆令和3年度野生獣衛生推進体制促進事業に係る第1回野生獣衛生推進体制促進委員会(第1回技術専門委員会)◆

開催：メール書面会議

内容：令和2年度事業実施概要、令和3年度事業実施計画(案)について

2021.6.9

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web会議 参加者 60名

- 内容：1. マンノクリン®βについて
- 2. 養鶏におけるハーブ抽出物給与の有効性
- 3. 抗血清加IBD生ワクチンの作用機序と効果について
- 4. 抗体検査と病性鑑定の状況

2021.6.4

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催場所：宮崎県畜産会館

内容：総会、学術集会、豚熱対策、愛玩動物保護について

2021.6.1

◆第2回JPPA豚熱対策検討委員会◆

場所：ハイブリッド(集会・web)会議 参加者 25名

- 内容：1.子豚への接種時期について
- 2.ワクチン接種農場における種豚の殺処分回避について
- 3.農場衛生責任者による接種について

2021.5.19

◆養豚場視察◆

場所：出水市

内容：離乳豚舎、肥育舎、交配舎の環境調査

2021.5.17 宮崎日日新聞

2021.5.17(20) 宮崎日

20年度県内肉鳥フル12農場、92万羽殺処分

防疫不備なくとも発生

県、新マニュアル策定へ

県内発生12農場、92万羽殺処分

宮崎県は17日、県内12農場で発生したアフリカ豚熱(ASF)の発生について、防疫不備なくとも発生したと発表しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。

宮崎県は17日、県内12農場で発生したアフリカ豚熱(ASF)の発生について、防疫不備なくとも発生したと発表しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。

宮崎県は17日、県内12農場で発生したアフリカ豚熱(ASF)の発生について、防疫不備なくとも発生したと発表しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。発生農場は、宮崎県東諸県郡の12農場で、発生農場数は12農場、発生羽数は92万羽に達しました。

2021.5.15

◆日本豚病臨床研究会 第 80 回定例会◆

開催：web 会議 参加者 約 50 名

内容：

1. 豚熱を感染症疫学の観点から見直す
2. 三重/栃木の発生報告を交えて

2021.5.14

◆動物と安心して暮らせる長野◆

開催：web 会議 参加者 約 40 名

内容：

1. 高病原性 鳥インフルエンザと 新型 インフルエンザを 紐解く
2. 新型 コロナだけではない！ 人獣 共通感染症

2021.5.14

◆日本豚病臨床研究会 第 41 回総会 第 80 回定例会◆

開催：web 会議 参加者 約 50 名

内容：総会(活動報告、会計報告、活動計画、役員改選)

1. 哺乳豚 PRRS 感染確認後の対応～コミュニケーションの大切さ～

2021.5.13

◆豚熱ワクチンを考える会◆

開催：web 会議 参加者 約 200 名

内容：1. 豚熱ワクチン接種の現状と今後
2. 子豚のワクチン接種プログラムを考える

2021.5.12

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催：web 会議 参加者 45 名

内容：総会(活動報告、会計報告、活動計画、役員改選)

1. 食鳥処理場 HACCP の危害要因（抗生物質の残留、病原微生物等）に対する農場での取り組み
2. 種鶏における濃縮粗繊維の役割

2021.5.10

◆JPPA 豚熱対策検討委員会◆

場所：ハイブリッド(集会・web) 会議 参加者 26 名

- 内容：1 子豚への確実なワクチンテイクの方法について
2 母豚の移行抗体を平準化するためのワクチン接種方法について
3 陽性イノシシ生息地域における家畜防疫員・かかりつけ獣医師の指導・管理の下での衛生管理者によるワクチン接種について
4 ワクチン接種農場での全頭殺処分について

2021.4.28

◆黒豚一貫養豚場視察◆

場所：鹿屋市

内容：分娩舎、離乳豚舎の環境調査

2021.4.27

◆飼料添加物セミナー◆

開催：web 会議 登録端末 70 台

講演内容：年の養豚場における疾病状況と対策

2021.4.26

◆第 4 回ハイクリーン豚舎開発実証試験検討会◆

開催：web 会議 参加者 12 名

協議内容：2020 年度の実施計画、ハイクリーン豚舎の実証試験、環境管理データ、AI 解析①活動量②成長率③音声、今後について

2021.3.31

◆Japan - the Netherlands Meeting on sustainable food◆

開催：web meeting

内容：Meat production in Japan and the Netherlands

Part I: Meat Product Niche Markets & Sustainability Initiatives

2021.3.30

◆特定非営利活動法人 獣医系大学間獣医学教育支援機構 2020 年度（第 7 期）第 2 回通常総会◆

開催：web 会議

内容：(1)機構役員および委員会構成, (2)秘密情報の取り扱い, (3)2021 年獣医学共用試験進捗

(4)VFap および VPcamp 実施状況, (5)獣医学実践教育推進協議会

2021.3.30

◆第 114 回全国大学獣医学関係代表者協議会◆

開催：web 会議

内容：1) コアカリキュラム検討委員会, 2) 共通テキスト編集委員会, 3) 動物診療施設委員会

4) 広報委員会, 5) 共用試験センター, 6) 実習推進センター, 7) 代替法検討委員会

8) 第三者評価関連, 9) 実践協議会関連

2021.3.27

◆第 89 回国公立大学獣医学協議会◆

開催：web 会議

内容：各大学の現状、馬獣医学教育の充実、その他について

2021.3.22

◆畜産経営支援協議会家畜疾病、自然災害緊急支援体制整備事業推進委員会◆

開催：メール書面会議

内容：家畜疾病、自然災害緊急支援体制確保事業自己評価について

2021.3.19

◆宮崎県獣医師会理事会◆

開催場所：宮崎県畜産会館

内容：令和 2 年度活動報告、令和 3 年度活動計画について

2021.3.16

◆飼料添加物セミナー◆

開催：web セミナー 収録(配信予定 2021.4.27)

内容：近年の養豚場における疾病状況と対策

2021.3.12

◆令和 2 年度地域豚疾病低減対策強化事業第 2 回推進委員会◆

開催：書面会議

内容：令和 2 年度における事業実施状況、令和 3 年度の事業実施計画等について

2021.3.12

◆令和 2 年度地域豚疾病低減対策強化事業第 2 回事業強化委員会◆

開催：書面会議

内容：令和 2 年度における事業実施状況、令和 3 年度の事業実施計画等について

2021.3.12

◆JASV 年次学会◆

開催：web 開催

- 内容：
- ・SPF 肥育用素豚導入農場において多発した事故対策として抗生物質添加を中止して改善した事例
 - ・異なる雄系による肉豚生産成績の比較
 - ・養豚管理獣医師と行政および家畜保健衛生所との連携を模索する～千葉県における CSF ワクチンを例に
 - ・PRRS 生ワクチンの子豚接種における成績改善例と経済効果
 - ・飼養豚へのワクチン接種に関する JASV が提案する仕組みと海外獣医療の情報

2021.3.6

◆令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会オンラインセミナー(第3回)◆

開催：web 開催

内容：保全医学の視点と野生動物における感染症の現状

- (1) 新型コロナから学ぶ One Health の意義と課題
- (2) 豚熱 (CSF) イノシシの発生状況と課題
- (3) 野鳥における高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 発生の現状
- (4) コロナウイルスと野生動物

2021.2.27

◆令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会オンラインセミナー(第2回)◆

開催：web 開催

内容：わが国における CSF (豚熱) 対策の現状と問題点

- (1) 「豚熱をめぐる情勢と今後の対応」
- (2) 「岐阜県における豚熱対策の取り組みについて～野生いのしし対策の現状と今後の対応～」
- (3) 「沖縄県での豚熱発生について」
- (4) 「現場からみた豚熱を考える」
- (5) 「豚熱の最近の感染事例と野生イノシシの感染状況」

2021.2.22

◆養豚場視察◆

場所：出水市

内容：離乳豚舎、肥育舎の環境調査

2021.2.19 西日本新聞

全国で感染を繰り返す家畜伝染病「豚インフルエンザ」。宮崎県では今季、4市2町で11例が発生し、計約90万羽が殺処分されている。プロイラ―菌菌数が全国一の県内の養豚場を巡るが、災害だ。鳥インフルエンザは人にも感染する人獣共通感染症。

海外での重症事例もある。養豚農家の通報を受けて、検査に入るのは県の家畜保健衛生所の職員だ。「鶏の毛などに付着したふんなどから感染する可能性もある。職員は命懸けです」と語る。

ウイルスは感染力の高い「高病原性」と「低病原性があり、低病原性のウイルスが養豚場を巡回する可能性がある。ウイルスを抑え込むには「予防的処置が不可欠。でも大切に育てた養豚農家のことを考える」とりきれ

「1年前、県内の牛など20万頭が殺処分された家畜伝染病「口蹄疫」の時には、終息に向けて現場で指導した。その経験が養豚農家への思いの根拠である。

今冬は、新型コロナウイルスの感染拡大で、宮崎県独自の緊急事態宣言が出される中、豚インフルエンザも発生。ウイルスの感染にさらされていく。農場は防疫対策の本丸。鶏舎を隔離し、出入り口を確実に閉めるなど基本を徹底するしかない」

宮崎大農学部、同大大学院を修了。農林水産省の技術官をしながら、北海道で獣医学博士の学位を取得した。農家の就取りだったが、権がなまきりいけなかった。今、全農の畜産関係者などからの相談が後を絶たない。専門は家畜衛生学。宮崎県田代町出身。62歳。

(佐伯浩之)

